

守 破 離

一味童心 ～共に茶道を楽しもう～



Facebook

山本部長 挨拶

この度、役員改選に伴い、令和7年度から森田真史さんに部長を引き継ぐこととなりました。部長を務めさせていただいた4年間、支部の先生方をはじめ、皆様には一方ならぬご支援、ご協力を賜りました。この場をお借りして、心から感謝申し上げます。



部長の任期中は、富山青年部の枠を超えて支部や北陸信越ブロックなどで多くの方々と交流する機会に恵まれ、管見な私にとって得難い経験となりました。

今後は、これまでの知見を活かし、森田部長を全力で支え、富山青年部を盛り立てていけるよう精励してまいりますので、皆様には変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

富山青年部部長 山本 哲弘

森田新部長 挨拶

平素より、皆様におかれましては茶道裏千家淡交会富山青年部を支えていただきありがとうございます。前任の山本哲弘部長より引継ぎ令和7年より2年間、部長を務めさせていただくこととなりました森田真史です。諸先輩方が築いてこられた青年部の部長という大役を引き受けることとなり、不安もありますが一步一步自分自身が成長し、少しでも皆様のお役に立てるように取り組んでいきたいと思っております。引き続きお力添えをいただきますようお願い申し上げます。



また、2期4年に渡り部長を務められました山本部長におかれましては、大変お疲れ様でした。富山青年部の60周年記念行事をはじめ、数々の行事やイベントで青年部会員を優しく、また力強くけん引するなどリーダーシップを発揮されておられた姿が印象的でした。引き続き、青年部活動を支えていただけると助かります。

さて、令和7年においては一昨年と昨年に引き続いて市民プラザ前の大手モールで開催される越中大手市場での呈茶のブースの出店を予定しているほか、新しい試みとして富山支部、学校茶道、青年部のコラボ行事の実施、富山青年部主管の北信越ブロック会員大会が控えております。茶道の未経験の方や学生などの日頃から茶道に普段なじみのない年齢層の方と一緒にお茶を通じてのふれあいや、他地域の青年部の皆様との交流ができる貴重な機会となります。富山青年部一同、協力しあい楽しみながら、取り組んでいけるよう努めていきたいと考えております。

私自身、至らぬ点が多くご迷惑をおかけするかとと思いますが、今後とも皆様のお力添えとご指導のほどよろしくお願い致します。

富山青年部部長 森田 真史

2024 年度活動報告

3月3日：令和6年度定期総会

令和6年度定期総会には、会員18名（うち委任状12名）が参加しました。総会では、令和5年度の行事報告及び収支決算報告並びに令和6年度の行事計画案及び収支予算案、部長改選公示の議題について、それぞれ承認をいただきました。その後、親支部から来賓の先生方をお迎えして初茶会と懇親会を開催しました。



今年最初の青年部行事ということで、気持ちも新たに定期総会に臨みました。定期総会では、参加した会員からすべての議案について承認をいただくことができました。

引き続き行われた初茶会では、親支部から来賓の先生方をお迎えして、薄茶席を設けさせていただきました。床に西垣大道老子青松多寿色お筆の「青松多寿色」を掛け、お花は梅と入れ、開催日がちょうど3月3日のひな祭りでしたので、ひな祭りにちなんだお道具を取り揃えました。

その後、会場を移して懇親会を開催しました。公務多忙の中、支部長も駆けつけてくださりました。先生方と青年部との貴重な交流の機会となり、親支部との親交を深めるとともに、青年部会員同士の親睦を図ることもできました。

7月7日：令和6年度新入会員歓迎茶会



今年度は5月末までに3名の新入会員の申し込みがあり、富山青年部の会員は21名となりました。

新入会員をお迎えして、民俗民芸村の円山庵において歓迎茶会を開催しました。茶会は蕎麦懷石、初炭手前、各服点による濃茶に続き薄茶を差し上げ、新入会員の皆さんをおもてなしました。

蕎麦懷石では、手打ちの蕎麦、枝豆腐、旬の素材を使った煮物の盛り合わせや八寸などでおもてなしをしました。

お茶席では、青年部所有の道具を中心に、会員が活動の中で作成した作品なども持ち寄り、お席を彩りました。懷石後の初炭で拝見に出された香合は、寄木細工の香合で、細かな意匠に感嘆の声が漏れていました。七夕ということで、きんとうんに短冊をあしらった主菓子、会員の作成した涼やかな翡翠色の菓子鉢で供されると濃茶への期待が高まりました。





そして中立ちの後、いよいよ濃茶となりました。点前が始まると、呉羽山に佇む円山庵を包む清涼な空気の中、そこには日常にない静寂が湛えられており、これまでの和やかな雰囲気とは一変して、お客様は一様に亭主のお点前を見つめていました。各服点により濃茶が練られて、お客様一人ひとりにお茶碗が運ばれ、ゆっくりとお茶を味わっておられました。

続いて薄茶となり、苘盆が運ばれると、お道具やそれにまつわるエピソードに話が及んでいき、和やかな雰囲気の中、点前が進んでいきました。
客として茶事に招かれたのが初めてという新入会員もおられて、これから新しく青年部の一員となる皆様にとって、きっと心に残る茶会になったのではないかと思います。

7月28日：和菓子作り体験

青年部会員間の交流を図るとともに、青年部会員以外にも青年部の活動を知っていただく機会を設けるため、50歳以下の支部会員の方にも参加していただける体験行事を開催しました。今回は、清進堂の上野康浩先生と遼子先生を講師にお迎えして、和菓子作り体験を実施しました。練りきりの成型やすはまの作り方、小豆から粒餡と漉し餡を作る過程を実際に間近に見ながら学びました。



今回は、支部の先生、支部会員の方との交流も目的とした行事として、和菓子作り体験を企画しました。お互いに練りきりを上手に成型するコツを確認しあったり、出来栄えを披露しあうなど、とても楽しく和やかに交流することができました。

主菓子は見た目や味わい、季節感や器との調和など、茶席での大きな楽しみのひとつである一方、亭主の込める思いがその取り合わせや銘にも表れているなど大切な役割を持っており、

濃茶への期待感をふくらませてくれます。

そして、そこには和菓子作りの職人としての意匠や心が脈々と受け継がれており、今回はそんな職人の技とプライドを間近で見学することができて大変貴重な経験となりました。

3月17日、4月28日、5月26日、10月27日、11月24日

まちなか＊マーケット越中大手市場

3月は、車両の通行を制限し、歩行者と路面電車のみが通行できる歩行者空間をつくるトランジットモールでの開催です。

大手モールの通り沿いに57のブースが並びました。午後から雨の予報でしたが、イベントが終了するまで天気は崩れずに何とかもってくれました。

今回の出店では、薄茶と温かいぜんざいをご用意しました。

皆さん真剣な面持ちで茶筌を振って、ご自分で点てたお茶を笑顔で召し上がっていました。

4月は通常開催の回です。大手モールの通り沿いの歩道に45のブースが並びました。

今回は、初の試みとして、2種類の主菓子をご用意して、お客様に好きな主菓子を選んでいただけるようにしました。



小さいお子さんは、選ぶのに迷うかと思いましたが、「ぼくこっち」など、意外とすぐに決めていたので、好みがしっかりとあるようで、ほほえましく見ていました。

5月はトランジットモールでの開催で54のブースが並びました。

今回は、より多くのお客様にお茶を楽しんでいただけるよう、支部の先生方、学茶の生徒さん、青年部会員が協力してブースを運営し、来客数は3月を超えて、これまでで一番となりました。

今後も支部、学茶、青年部の協力体制を築きながら、継続的に多くの方に楽しくておいしいお茶を提供する機会をつくっていききたいと思います。

10月は通常開催の回です。大手モールの通り沿いの歩道に43のブースが並びました。

今月をご用意していたお菓子がお昼頃にはほぼ売り切れ状態となり、慌てて追加のお菓子を買に行くという、うれしい誤算もありました。

越中大手市場での出店回数を重ねるごとに、来客数は増加傾向にあり、少しずつお茶が浸透してきているのかなと感じます。

11月は、今年最後のトランジットモールでの開催です。63のブースが並びました。

小さなお子さんは、みなさん体験型のメニューを選択され、楽しそうに茶筌を振っておられました。

小学校入学前の小さなお子さんも、自分で点てたお茶を笑顔で「おいしい」と言って召し上がっていました。



遊びに来てくれたお子さん連れの知人から、後日聞いた話ですが、子どもとお風呂に入ってたから突然、「抹茶おいしかった。また飲みたい！」と言ってたそうで、きっと楽しい思い出になったんだろうと、ほっこりしました。またお茶を飲みに来てくれたら嬉しいです。

11月3日

卒業茶会

今年の12月末で青年部をご卒業される会員をお招きして卒業茶会を開催しました。茶会は、初炭、点心の後、続きお薄という流れで行い、濃茶は各服点としました。

待合には、教道宗育和尚お筆の「福如雲」の短冊を掛けました。本席には小林太玄和尚お筆の「寿山萬丈高」を掛け、花は浜菊、ズイナ、見返り草を入れました。



席入りの後、初炭手前で炭を継いで、火が起こるまでの間、点心を召し上がっていただきました。中立ちの後、各服点で濃茶を差し上げ、続いて薄茶を差し上げました。お道具は青年部活動で使用した数々の思い出の品で揃えました。茶会の後、ご卒業される方に感謝状をお渡ししました。

例年、卒業茶会は12月に開催していますが、今年は諸事情により11月に開催することとなりました。前日の天候が雨で心配でしたが、当日は天高く青空の広がる気持ちのいい快晴となり、呉羽山の山中にある円山庵は日当たりもよく、吹き通る風を心地よく感じながら過ごすことができました。

初炭では、しっとりとした手前で炭が継がれていくのを見ているうちに、日々の慌ただしい時間から、段々と秋の装いに衣替えをしている呉羽山の清らかでゆったりとした時間の流れの中に感覚が溶けこんでいくかのような気持ちになりました。その後、盛り付けも美しい万里摩理のお弁当に煮物碗と八寸をお出しして、ノンアルコールの飲み物で一献差し上げました。

今回ご準備したお菓子はすべて会員の手作りでした。主菓子にお出した亥の子餅は、中に大きな栗が隠されており、餡の甘さとのバランスが絶妙で、その美味しさにお客様はみな驚いていました。干菓子には、有平糖の千代結びと、琥珀糖の紅葉とイチヨウをご用意しました。柚子など色々な風味で仕立てた琥珀等は色合いも美しく、お客様からは大変喜ばれました。

そして、茶会の最後にご卒業される会員に感謝状をお渡ししました。これまでの思い出とともに、青年部行事にご尽力いただいた先輩への感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。



卒業生より

松井 美紀さん

茶道歴だけは長いのですが、裏千家淡交会に「青年部」という組織が存在することを知らず、10年前に先生が変わったタイミングで「青年部」に出会いました。

この10年で、「青年部」にいないと出会うことのなかった人に会い、「青年部」にいないと行けなかった場所に行き、「青年部」にいないとできなかった経験をさせていただきました。

「青年部」という存在を教えてください、入会とその後の活動を支えてくださった井上先生。

ブロック間交流に快く送り出してくださったブロック長をはじめとしたブロック役員の方々。いい加減でめんどくさがりでクセの強い性格の私と一緒に活動してくださった富山青年部の皆様。そして、なにかとご一緒することが多かった高岡青年部と魚津青年部の皆様。

たくさんの出会いと貴重な体験の場となり、かけがえのない思い出をたくさん作ることができました。

なにが起こるかわからない今日この頃、少しでも悔いが残らないように、できるうちに行きたいところについて、したいことをしたいと思っています。

長いようで短い青年部活動をご一緒できた皆様には、感謝申し上げます。

ありがとうございました。

編集後記（広報委員長 松原）

令和6年は振り返ると、個人的なお話ですが、より北陸信越ブロックの行事に参加することが出来、ご縁がさらに広がった年となりました。ブロック内では、1月に発災した能登半島地震、9月に発生した豪雨ではたくさんの方々が被害に遭われました。いつ、どんなことが起きるかわからないのが自然の驚異ですが、生かされていることを胸に抱きしめながら、人々と交わり日々共に生きていこう、と感じ可能な限り青年部行事、ブロック行事に関わることが出来ました。ありがとうございました。

令和6年も皆様のお陰で無事、守破離の編纂に携わることが出来ました。

今年で広報委員からは外れますが、これからも富山青年部を盛り立てていこうと思います。皆様、引き続きよろしくお願いいたします。

令和 7 年 1 月発行



茶道裏千家淡交会 富山青年部

～富山青年部では随時会員を募集しております！！～

青年部活動に賛同していただける方なら、どなたでもご入会できます。

年会費 1, 0 0 0 円（2 6 歳未満）

3, 0 0 0 円（2 6 歳以上、5 0 歳未満）

申し込み先 富山青年部公式 Gmail tankoukaitoyamaseinenbu@gmail.com

活動については、Facebook の配信も行っておりますので、ぜひ御覧ください！



Facebook